

遊ぼう！創ろう！集おう！ 駅前プロジェクト

～ 人が主役のまちなかを“未来のあたりまえ”に ～



テーマ
若者・次世代に繋ぐ
南草津駅周辺の未来構想



対象地について



東山道記念公園

〒525-0050 滋賀県草津市野路町 字片原3034番他

JR東海道線（琵琶湖線）南草津駅西口前に広がる公園。かつてこの地には、近畿と東国を結ぶ幹線路の東山道（とうさんどう）が通っていた場所であり、東山道の駅宿「野路岡田遺跡」が発掘された場所としても話題になった。その東山道という道路を偲んでこの名前が付けられた。

JR 南草津駅 MINAMI KUSATSU
STATION

私たちが
気持ちよく暮らせる
まちづくり

とは何でしょう？

JR 南草津駅 MINAMI KUSATSU
STATION

南草津に
居場所をつくること

孤独・孤立をなくす

© 2022 Google



多世代の交流

まちづくりは
ひとづくり



VISION

JR 南草津駅 MINAMI KUSATSU
STATION

街を「自分ごと」として捉える

～ 人が主役のまちなかを“未来のあたりまえ”に ～

現状の課題

UDCBKの都市デザインマネジメントスクールの報告書を確認し、ヒアリングを行った結果、現状の課題として以下の3点に注目する。

現状の課題

UDCBKの都市デザインマネジメントスクールの報告書を確認し、ヒアリングを行った結果、現状の課題として以下の3点に注目する。

1



**大学で学んだ知識を南草津
で実践する機会が少ない**

- ・大学の存在感を最大限に
発揮し新たな価値の創造

現状の課題

UDCBKの都市デザインマネジメントスクールの報告書を確認し、ヒアリングを行った結果、現状の課題として以下の3点に注目する。

1



大学で学んだ知識を南草津で実践する機会が少ない

- ・大学の存在感を最大限に発揮し新たな価値の創造

2



子供の増加による公園遊び場の需要拡大

- ・保育園が西口付近に3カ所あるが近くに公園がないため、部屋で遊ばせることが多い。

現状の課題

UDCBKの都市デザインマネジメントスクールの報告書を確認し、ヒアリングを行った結果、現状の課題として以下の3点に注目する。

1



大学で学んだ知識を南草津で実践する機会が少ない

- ・大学の存在感を最大限に発揮し新たな価値の創造

2



子供の増加による公園遊び場の需要拡大

- ・保育園が西口付近に3カ所あるが近くに公園がないため、部屋で遊ばせることが多い。

3



マンション住民中心でのコミュニティの分断・孤立

- ・隣人との距離が遠く住民同士のコミュニケーションが少ない
- ・地域全体との関わりが薄れ、マンション住民が地域コミュニティから孤立

The background of the slide shows a blurred office or meeting room with several round tables and modern chairs. Overlaid on this background are white silhouettes of four people. From left to right: a woman with her hair in a ponytail, gesturing with her hand; a man standing and leaning forward as if speaking; a man standing and facing forward; and a man sitting at a table, holding a pen and looking towards the others. A large orange-to-yellow gradient rectangle is positioned in the lower half of the image, containing the title text.

WSによる チームビルディング

手順1 企画WS

UDCBKにてコアメンバー^{※1}、グラッシー^{※2}、協力者、都市地域デザイン研究室がWSを行う

内容	解決	どういう効果が生まれるのか
UDCBKのコアメンバー、マンション住民や小学生の協力者、グラッシー、を含む20人程度集め推進メンバーとする		チームビルディング
都市地域デザイン研究室の学生5人をファシリテーターとし参加者を4チームに分けて議論を進める		
WSの概要として東山道記念公園をにぎわい創出の拠点として創り上げるため、「木製遊具の検討と計画」「今後の活用方法の検討」を話し合う		
グラッシーさん主体で「植栽の選定」「ガーデニングの進め方」について話し合う		

※1 コアメンバー UDCBKにて都市マネジメントスクールを受講しているメンバー

※2 グラッシー 東山道公園の植栽の手入れをされているガーデニング団体



共同作業による
チームビルディング

手順2 制作WS

立命館大学のトリシアにて木製遊具作成WSを開催する



学生団体Clownさんの作品

内容

- **推進メンバー**と大学内のトリシアにて**学生団体Clown**と一緒に木製遊具の作成を行う
- 木製遊具はベンチやハンモック、シーソー椅子、モルックを検討中
- 備品は**学生団体Clown**から借り、参加者にはイベント保険に入ってもらう（我々が負担）
- 材料は企画WSで決まった遊具をもとに支出を計算する想定では10万以内には収まる予定。また廃材で作成できる場合は研究室で関りのある京都の仁和寺様からいただく。

解決



どういう効果が
生まれるのか

チーム
ビルディング

木製遊具イメージ



木製ベンチ 総費用約10,000円



ハンモック総費用約10,000円



シーソー 総費用約15,000万円



モルック 総費用約1,000円



社会実験 プレイスメイキング



手順3 社会実験

2日間、木製遊具設置の社会実験を行う

 内容	 解決	どういう効果が生まれるのか
・ 東山道記念公園に遊具を設置し滞留空間を創出 ・ 二日間は推進メンバーが点検する ・ 参加者の皆さんにイベントの保険に加入 (我々が負担) ・ 植栽の植え替えをグラッシーさん主体で行う ・ 他イベントでも使えるように木製遊具は老上学区やUDCBK、大学に寄付	  	多様な活動を受け入れる居場所へ



価値の定着
長期的な取り組みへ

街を「自分ごと」として捉える4ステップ



WS

- 1.2月UDCBKにて
WSを開催
- ・木製遊具の検討
 - ・植栽選定



制作WS

- 3月後半
トリシアにて遊具の作成
- ・遊具の制作



社会実験

- 4月中旬
東山道公園に設置
- ・1週間社会実験
 - ・滞留空間の調査



価値の定着

- 4月下旬
振り返り
- ・老上学区・児童施設に寄付
 - ・学生や協力者がグラッシーやUDCBKのコアメンバーへ

コミュニティデザイン

ステークホルダーであるグラッシー、コアメンバー、大学生、マンション住民、子供たちと共同作業、WSを進めることでチームビルディング醸成

プレイスメイキング

潜在的なニーズの顕在化、
生み出したい豊かなイメージを創出
多様な活動を受け入れる居場所へ

VISION

JR 南草津駅 MINAMI KUSATSU
STATION

街を「自分ごと」として捉える

～ 人が主役のまちなかを“未来のあたりまえ”に ～

遊ぼう！創ろう！集おう！ 駅前プロジェクト

～ 人が主役のまちなかを“未来のあたりまえ”に ～



補足・配布資料

補足資料：予算

UDCBKでのWS 20人想定

付箋 ×20	2,000
WSチラシ公募広告の掲載費	16,000
印刷代（大学）	0
ボード（研究室の備品）	0
UDCBKの利用代	0
	18,000

大学にて制作WS 25人想定

軍手 ×25	1,000
木材・釘・金具	50,000～70,000
木材運搬費	7,200
イベント保険	4,000
廃材（仁和寺さんから）	0
機材（学生団体CLOWNの備品）	0
場所代	0
	62,200～82,200

補足資料：予算

社会実験 2日間 100人来場予定

木材運搬費	14,400
ガーデニング	10,000
イベント保険	10,000
社会実験の広告掲載費	16,000
社会実験チラシ印刷代（大学）	0
機材（学生団体CLOWNの備品）	0
	50,400

合計費用 130,600~150,600

※もし20万円の最優秀賞をいただけた場合は、推進メンバーの謝礼や寄付金に回します

補足資料：参考文献・事例

①あそべるとよたプロジェクト



<https://asoberutoyota.com>

②イベント保険

<https://www.goodhoken.co.jp/event-baiseiki3/>

③レンタカー代

<https://www.2525r.com/price/class-t1/>

④DIY

モルック：https://note.com/mizuki_1505/n/n75a914f43c06

ハンモック：<https://craftsman.gtfm.org/post-1333/>

ベンチ：<https://4yuuu.com/articles/view/30014477>

シーソー：<https://www.komeri.com/contents/diytry/details/06/>

補足資料：参考文献・事例

⑤コミュニティデザイン～人がつながる仕組みをつくる～

著者：山崎亮

⑥プレイスメイキング アクティビティファーストの都市デザイン

著者：園田聡

⑦UDCBKマネジメントスクール 報告書